

## 平成 25 年 3 月の解説（府県天気予報）

### 【3月の天候状況】

上旬は、1日から2日にかけて低気圧が発達しながら日本海から北海道に進み、北日本を中心に非常に強い冬型の気圧配置となりました。このため、北日本の広い範囲で暴風雪となりました。その後は、東日本以西では移動性高気圧に覆われ、晴れの日が多くなりました。一方、北日本は短い周期で低気圧や前線の影響を受け、曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、風の強い日が多く、10日は関東で煙霧や風じんを観測しました。

中旬は、短い周期で低気圧や前線と高気圧が交互に日本付近を通過し、天気は周期的に変化しました。低気圧は北日本付近を通過することが多く、北日本日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多くなりました。東日本以西では、移動性高気圧に覆われ晴れる日が多くなりました。

下旬は、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過しましたが、北日本は冬型の気圧配置で寒気の影響を受ける日も多くなりました。低気圧は、沿海州からオホーツク海、あるいは日本の南を通ることが多く、降水量は北日本から西日本にかけて少なく、沖縄・奄美では多くなりました。

月平均気温は、東・西日本および沖縄・奄美でかなり高く、26地点で3月の月平均気温の高い方からの一位を更新しました。月降水量は、東・西日本でかなり少なく、北日本太平洋側で少なく、8地点で3月の月降水量の少ない方からの一位を更新しました。一方、北日本日本海側および沖縄・奄美で多くなりました。月間日照時間は、西日本日本海側および沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側および東・西日本太平洋側で多く、北日本日本海側でかなり少なくなりました。降雪の深さ月合計は、北日本太平洋側で少なくなりました。月最深積雪は、北日本で平年を上回る所が多くなりました。

### 【3月の検証結果】

17時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値（注）より1ポイント高い84%で、明後日予報は例年値より1ポイント高い80%となりました。各地方の適中率では、明日予報は西日本と沖縄では例年値より高く、特に中国地方で7ポイント高くなりました。一方、北日本と東日本では例年値と同じか低く、特に北陸では6ポイント低くなりました。明後日予報は西日本を中心に例年値と高い地方が多く、特に沖縄では7ポイント高くなりました。

明日の最高気温の予報誤差は全国的に例年値程度で、全国平均値は例年値より0.1小さい1.7となりました。最低気温の予報誤差も全国的に例年値程度で、全国平均値は例年値と同じ1.6となりました。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

### 【5月の天気予報の利用にあたって】

5月の天気の特徴の一つは、東西に広がった帯状の高気圧に覆われて晴れる日が続くことですが、時には低気圧が発達しながら日本付近を通過して大荒れの天気となることや、本州の南岸に前線が停滞して曇りや雨の日が続くこともあります。また、晴れていても、大気の状態が不安定となり、雷や突風、局地的な大雨になることもあります。

屋外での活動を計画する場合は、天気予報とともに最新の気象情報や注意報・警報の発表状況に留意し、天気の急変などに備えることが大切です。